

2019年度 事業報告

2019年4月1日～2020年3月31日

< 2019年度 事業報告 >

1. 総括

J A A Aが掲げたビジョンの2年目。その達成のために新たなチャレンジを継続し、少しずつではあるが成果を出すことができた1年だった。

J A A Aビジョン2019

「J A A Aは、激変する広告業界を支え、業界をリードするエンジンとなる」

－業界課題への対応力・解決力を強化し、次世代を見据えた魅力的な業界作りを目指す－

- 1) 業界全体をつなぐ「協働スキーム」の強化
- 2) 「人材育成」のための新たなチャレンジ
- 3) 「デジタル」への対応強化
- 4) 「働き方改革」のさらなる推進
- 5) 「メディアビジネス」の活性化
- 6) 「クリエイティブ」の強化
- 7) 「P R戦略」の再構築

以下、ビジョンの7つのアクションに対応して、今期の実績を振り返りたい。

1) 業界全体をつなぐ「協働スキーム」の強化

まずは昨年度より始めた委員長会議による委員会の横連携が上げられる。また他団体との連携についても、広告関係24団体で人材育成をテーマに共同プロジェクトをスタート。さらにJ A A・J I A Aと協働して、デジタル広告の品質課題解決に向けて具体的に動きだした。

2) 「人材育成」のための新たなチャレンジ

大学生に広告会社の魅力を伝えるために、クリエイターと若手社員による学生向けセミナーをマスメディアンとの共催で開催。また広告関係24団体との協働で若手・学生に向けたポータルサイトを開設し、大学でのセミナーを実施するなど、これまでにない新しいチャレンジを進めている。

3) 「デジタル」への対応強化

J A A、J I A A、J A A Aの3団体でデジタル広告の品質課題に関する議論を続け、新たなスキームとして、アドベリフィケーションに関する認証を行う第三者機関の設立を具体的に検討するに至った。また、ウェブ上の海賊版対策やアフィリエイト対応など、業界課題への対応も着実に進めている。

4)「働き方改革」のさらなる推進

制作領域の改革についての進捗を確認するために、円卓会議4団体でアンケートを取って結果を分析し、課題を共有した。

またJ A A A会員社の働き方の変化や推進の実態を把握するために、まずは会員社20社を訪問してヒアリングし、その結果を会員全社にレポート。また同時に会員社へのアンケートも実施し、先行する会社の事例を共有するなど、業界全体の働き方改革の情報共有と事例共有の役割を果たしている。

5)「メディアビジネス」の活性化

各メディアでそれぞれ会員社のナレッジ強化のためのセミナーなどを検討、開催し、成果を上げた。またテレビ・ラジオのCMオンライン化、新聞・雑誌の送稿オンライン化を推進し、業界全体の課題という視点で、中心となってデジタル化への推進を続けている。

6)「クリエイティブ」の強化

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の選出と、その対外アピールによる広告クリエイティブの底上げを図った。さらに各セミナーへの講師派遣により、クリエイターと会員社若手や学生との接点を増やし、業界活性化の役割を担っている。

7)「PR戦略」の再構築

会報やHPの改定によるPR力強化に加え、新たな発信手段の構築を進めてきた。今後もSNSの発信や、セミナーの見直しなど、新たなツールを使った情報発信により、業界の発展に貢献できると考えている。

2. 委員会事業報告

事業委員会

【1】ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：大久保裕一）

統括する各委員会の委員長が「CM素材オンライン運用推進プロジェクト」や「新しい働き方委員会」などに出席、委員会全体の課題を横断してサポートする体制で取り組んでいる。

【1-1】経理委員会（委員長：三宅 大）

会員社に必要な情報として、新しい「収益認識基準」や「下請法調査」について情報共有するとともに、業界全体の課題として検討を進めてきた。

【1-2】情報システム委員会（委員長：川上 勲）

2019年度「情報システムアンケート」は、働き方改革のためのIT施策が導入され社内インフラが整いつつあること、それに伴う人材確保が課題であることなどが報告された。

また業界共通の課題として「オフィス365」「情報セキュリティ」「事業継続計画」についてワーキンググループを発足、現状把握と検討を進めている。

【1-3】法務委員会（委員長：長谷川雅典）

7月に関連団体と共同で広告法務セミナーを実施した。また個人情報保護法へのパブリックコメントを作成し提出するなど、業界全体の課題に対応している。

【1-4】制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

委員長を中心に、CMオンライン推進への対応を進めている。テレビ委員会が推進する字幕付きCM普及推進協議会において、簡易で低額な作業システムを提案し実行に移すなど、具体的な活動を進めた。

【1-5】営業委員会（委員長：橋爪恒二郎）

業界の課題は営業に関わることが大きいため、委員長を中心に「働き方」や「CMオンライン」などの委員会に協力し、業界全体の課題解決に貢献してきた。

【2】メディア委員会（担当理事：大森壽郎 委員長：石川 豊）

テレビCMオンライン推進が順調に進み2020年度末には全局開通を目指す。インフラが整備されることを機に、さらなる推進を進めていく。「CM素材オンライン運用推進プロジェクト」報告では、開通した放送局は120局となり、送稿本数は累計で21万本、広告主は380社を数える。今期も各地で説明会を開催、JAAへも運用開始2年での現状と課題について報告を行った。

またネット広告の品質課題が大きなテーマとなっており、他団体と協働してアドベリフィケーション対策を推進することがテーマとなっている。

【2-1】テレビ委員会（委員長：五十嵐真人）

- ①「字幕付きCM普及推進協議会」では、第5期の幹事をJ A A Aが担当し、推進に向けて、効率的な字幕付与作業のシステムを検討、ハンドブックを作成するなどの成果を出した。また9月に「字幕付きCMセミナー」を開催し、300名を超える参加者を集めた。第6期はJ A A Aが幹事を引き継ぎ、広告主の運用効率（素材の一本化など）を進める方針としている。
- ②「有事に関する懇談会」に関して、7月と2月にJ A A、在京5社と懇談会を実施した。「大震災時の対応」に加えて「大雨、台風、水害関連における対応」などの検討も行っている。
- ③ビデオリサーチより「2020年4月以降のテレビ新視聴率について」説明を受けた。内容は、全体フレームの変更・全国視聴率・BS視聴率・OA／OL統合指標・テレビCM統計など。また、BS6局でも「全国32地区視聴率」が2020年4月から導入される。
- ④放送確認書誤記載調査を実施。今までの調査結果と同様に広告主名の誤記載が最も多く、ほぼ人的作業ミスによるものであった。これを受けてJ A A Aから民放連に対して、改めて民放各社に「放送確認書発行ルール」へ注意喚起のお願いを申し入れた。

【2-2】ラジオ委員会（委員長：大木秀幸）

- ①民放連と協力し、2020年4月に開始するCM進行表のオンライン化に向けた検討を行い、導入に向けた周知のための説明会を東京・名古屋・大阪で実施した。ラジオCM素材のオンライン送稿については累計16万本を超え、順調に推移している。
- ②「AMラジオ放送のあり方」「個人視聴率の次期フレーム構想」「これからのラジオ業界」などについて関係各所より説明を受けた。「これからのラジオ業界」については、2020年度、ラジオ媒体活性化やターゲティング配信可能なオーディオアドの動きなどを会員社と共有するセミナーの実施を検討している。

【2-3】新聞委員会（委員長：榎本規成）

10月の新聞大会にあわせ、「情報戦略の起点となる新聞、新聞社力+デジタルで得意先課題ソリューションに。」をテーマとした新聞ブランケット判を制作し、関係各所へ配布した。冒頭には電通・澤本ECDと博報堂・嶋ECDによる対談記事を掲載。また2人を招いてJ A Aとの共催セミナーを1月に実施した。

【2-4】雑誌委員会（委員長：東 正之）

第2回雑誌セミナー「雑誌メディアのトランスフォーメーション」を11月に実施し、74名の参加があった。宣伝会議の浦野氏、コンデナスト・ジャパンの北田氏、文藝春秋の新谷氏を講師に迎え、雑誌メディアのデジタル領域との融合やコンテンツ力を活かしたビジネス作りの話を聞いた。新しい雑誌メディアの可能性を感じるとの声もあり、予定を上回る出席者となった。また会報10月号に各出版社の最新事例の特集を組んで掲載した。

【2-5】交通広告委員会（委員長：菊田真弘）

交通広告セミナーを10月に実施。ミュゼプラチナム相馬氏より「広告主の交通広告活用事

例」の紹介、NTTドコモ奥村氏より「5G×OOHの可能性」として新しい車内広告における5Gサービス事例を紹介、OOHの可能性を具体的に感じる事ができたと好評だった。

【2-6】インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）

- ①アドテック東京2019において若手による「JAAAスポンサードプレゼンテーション」パネルセッションを実施した。観覧者は約200名に上った。
- ②アフィリエイト広告への対応として「アフィリエイト業務に関する覚書」「アフィリエイトに関する発注ガイドライン」を会員社に向けて発表した。
- ③「海賊版サイトへの広告出稿への抑制」を着実に実施するため、CODA（コンテンツ海外流通促進機構）、JAA、JIAA、JAAA、出版広報センター、日本動画協会で「海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議」を開催し、JAAAからは石川委員長が出席した。会議には内閣府と経済産業省なども参加した。
- ④デジタル情報連絡会（JAA、JIAA、JAAA）報告。JAAがデジタル広告の諸課題に対する基本原則を示した「デジタル広告に対するアドバイザー宣言」を発表。これを受けて3団体で第三者機関の必要性について検討し、「準備委員会」を設立することとした。

【2-7】メディア調査研究委員会（委員長：牧野 聡）

ビデオリサーチより、新視聴率と広告統計の今後の計画などについてヒアリングし、テレビ委員会と同様に対応した。

【2-8】メディア業務改善委員会（委員長：大富康正）

委員会よりメンバーを募り「テレビCM素材割付指示標準化WG」を組織し、素材指示書の標準化に向けて検討を開始した。

【3】クリエイティブ委員会（担当理事：中田安則 委員長：能登健裕）

「2018年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞」受賞者による地方での講演を実施、東京を皮切りに、名古屋、札幌、静岡、大阪、福岡、京都の各地で開催し、軒並み前年を上回る来場者数で好評だった。また各地業協からの要請で山形、仙台、秋田の3地区でも開催。さらにアンコール講演を若手に向けて実施するなど、範囲を広げている。

また3月には「2019年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞」審査会を開催、イヤーとメダリストを選出した。発表は2020年4月に行う。

【3-1】クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞実行委員会

2019年度の選考において審査をサポート、推進した。また今後の賞のあり方についても意見交換を重ね、来期以降の選考に反映させていくこととした。

【3-2】著作権委員会（委員長：小竹伸幸）

JAAからの依頼を受け、広告関連法規セミナーに講師を派遣、協力した。また、人材育成委員会と共催で会員社対象に「ネットのデマと拡散～当事者にならないために～」をテーマに「広告と人権セミナー」を開催した。

【4】人材育成委員会（担当理事：桑原常泰 委員長：松浦啓子）

- ① 4月に会員社の新入社員に対する恒例の「新入社員教育セミナー」を実施、11月には入社半年後の社員に向けた「フォローアップセミナー」を実施した。合わせて200名を超える若手が集結し、広告基礎の講義とワークショップによる研修を受けた。
- ② 広告会社の魅力を大学生に伝える新たな試みとして、マスメディアンとの共催でキャリアプランをテーマとした大学生対象セミナーを9月と12月の2回実施した。各回とも、クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者1名と若手2名による講演の後、学生からも多くの質問が出て、活気あるセミナーとなった。

【4-1】広告ビジネス入門発行委員会（委員長：中馬 淳）

隔年で改訂している「広告ビジネス入門」について編集作業を行い、2020年3月に新版を発行した。

【4-2】懸賞論文委員会（委員長：若月 健）

「広告ってなんだろう？」をテーマに募集した懸賞論文には、前年度並みの373編の応募があった。10月より審査を開始、2月末の最終審査会で入賞・入選者を選出した。「論文の部」金賞は、安藤真澄氏（電通）、銀賞、銅賞は各1名、「私の言いたいこと」一般部門4名、新人部門4名が入選した。発表は2020年4月に行う。

【4-3】海外交流委員会（委員長：高橋 修）

- ① 第46回海外広告研修団はNY・LAを訪問し9月30日に帰国。4A's、Fox、TBWA CHIAT DAY、The Trade Deskの4社を企業訪問した。団員は報告書を作成し会報の臨時増刊号を発行。また12月に帰国報告会を開催し34名の参加があった。
- ② スパイクスアジア研修も9月に実施。若手を中心に、アジア地域のクリエイティブトレンドに刺激を受けて帰国した。事前にカンヌライオンズで賞を取るための「How to Win A Lion」セミナーも7月に実施、54名の参加を得た。
- ③ アジア広告業協会連盟（CAAAA）は、一定の役割を果たしたとして2019年末をもって解散。連盟の最終会議を12月5日に台北にて開催、最終財務報告を実施した。

【4-4】イノベーション委員会（委員長：桑原宗明）

第7回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」の審査会を実施した。第1次、第2次、最終審査を経て、同賞実行ワーキンググループが審査した結果を、理事会の承認を経た上で2020年4月に発表。また2019年5月のアドバタイジングウィークアジアで、第6回受賞者を迎えて若手大賞をアピールするセミナーを実施した。

【5】PR委員会（担当理事：内藤好徳 委員長：斎藤 浩）

今後の委員会活動内容について検討を行い、業界活動を内外にアピールする施策を今後も継続して検討、推進していくこととした。また「広告の広告」の掲載について見直しを行い、東急エージェンシーの制作した表現案を承認、2020年4月より掲載を開始する。

【5-1】会報編集委員会（委員長：安斉 昇）

5月より会報の見直しを行い、情報をより多くの会員社現場に届けるための施策の一環としてレイアウトを変更、特集記事をHPにも掲載することとした。また、デジタル関連ページを新設しJIAAの協力を得て「DIGITAL-Knowledge～今知りたい、デジタルのこと～」をシリーズで掲載した。

【5-2】広告の機能と役割研究委員会（委員長：松本 順）

最近のヒット商品/カテゴリーがどのような消費者の態度変容を経て購買に導いたか、もしくは導けなかったのかを調査分析し、「デジタル時代の新しいコンシューマージャーニー」をテーマに2月に発表会を実施した。調査研究発表の後、ワークマン土屋氏と日経クロストレンド吾妻氏を迎え、トークセッションを行った。

【5-3】CSR委員会（委員長：木下浩二）

企業でも関心が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）をテーマにポスターを募集。10月に審査会を開催し受賞作品を選出した。最優秀賞は電通西日本の正躰氏と川口氏となり、作品はポスターとして会員社へ送付した。応募総数は12社46名91点。

特別委員会

【6-1】新しい働き方委員会（委員長：今泉智幸）

5月に円卓会議を開催し、これまでの施策の実態把握アンケート調査結果を共有。4団体でリリースを発信し、今後のさらなる推進を図ることに合意した。
またJAAA会員社の働き方の推進状況を把握するために会員社ヒアリングを実施、レポートを全社にフィードバックした。さらに会報3月号特集「広告会社の働き方改革」で会員社での進んだ取組みを紹介するなど、業界全体の働き方を共有、サポートしている。

【6-2】広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

日本の広告費（電通発表）を会員社に共有した。今後も会員社への情報発信のための施策を検討する。

運営委員会

【7】運営委員会（委員長：植野伸一）

理事会に提出議案、及び協会運営に関する事項について検討を行った。

【7-1】入会資格審査委員会（委員長：内藤好徳）

入会申請3社の資格審査を行い、理事会で入会の承認を得た。

【7-2】財務委員会（委員長：植野伸一）

2019年度決算見込、2020年度予算案について検討を行った。

【7-3】吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：内藤好徳）

2019年度定時総会記念式典において第54回の贈賞を行った。また第55回の選考を行った。

【7-4】役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）

今年度は役員改選期（任期2年）ではないので、開催なし。

3. 事務局運営報告

（1）令和2年広告界合同年賀会

2020年1月8日に帝国ホテルで開催。参加者は1,832名と盛況だった。

（2）会員代表者懇談会

2019年12月10日帝国ホテルで開催。参加者は会員代表者80名。講師に口サンゼルス五輪体操金メダリストの森末慎二氏を迎え、「緊張とプレッシャー～金メダルまでの道のり～」というテーマで講演をいただき、その後懇親会で交流を図った。

（3）全国広告業団体連絡会議

4月に後期・10月に前期の情報連絡会を開催し、各地の景気状況や広告業界の報告を行った。また2019年10月に理事会・通常総会を開催した。

（4）広告関係団体連絡会「広告のミライ」プロジェクト

広告関係24団体の連絡会で推進してきた「広告業界若手の活性化」と「広告業界を目指す学生への魅力喚起」に関するプロジェクトが始動。以下の活動を行った。

- ① ポータルサイトを1月に立ち上げ、業界24団体として情報発信できる体制作り
- ② 大学に出向いて各団体の活動を説明する授業（12月にトライアル開催済み）
- ③ 各団体のセミナーや研修を一覧で掲載し、学生も広く参加できる仕組みづくり

（5）広告3団体連携デジタル事業構想について

広告3団体（JAA、JIAA、JAAA）で議論を続けてきた「デジタル広告の品質課題解決」のための事業構想（仮称JICDAQ）が具体化し、4月を目標に準備委員会を立ち上げることになった。

（6）広告料金表発行について

新聞広告料金表を上期版として6月、下期版として12月に発行した。また放送広告料金表を8月に発行した。

＜定時総会報告＞

2019年度「定時総会」を、2019年5月31日（金）13時30分～14時20分に「パレスホテル東京」にて開催した。

議決権のある会員代表者の出席は140名（代理出席5名を含む委任状の提出70名）。

報告事項の説明の後、決議事項として第1号議案、第2号議案を承認し、閉会した。

〔報告事項〕

1. 2018年度事業報告の件
2. 2019年度事業計画並びに収支予算報告の件

〔決議事項〕

- 第1号議案 2018年度決算報告承認の件
第2号議案 2019・2020年度役員選任の件

* 本総会をもって退任した役員は、滝久雄理事（NKB）1名。

また定時総会后、第312回理事会を開催し、以下の決議事項に関して推薦があり、承認を得た。

〔第312回理事会〕

〔決議事項〕

1. 理事長・副理事長の選定の件
理 事 長 成田 純治（博報堂 取締役相談役）
副理事長 岩井 秀一（大広 取締役会長）
植野 伸一（ADKホールディングス 代表取締役社長・グループCEO）
石井 直（電通 会長（顧問））
2. 専務理事・常務理事の選定の件
専務理事 村井 知哉
常務理事 荒木 利孝
3. 会長・相談役の推薦の件
会 長 高嶋 達佳（電通 相談役）
相 談 役 俣木 盾夫（電通 相談役）
4. 運営委員会・特別委員会委員等に関する件

* 引き続き記念式典、懇親パーティーを開催し16時30分に終了した。

◇記念式典

- ・第48回懸賞論文表彰式
- ・2018年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞表彰式
- ・第54回吉田秀雄記念賞贈賞式

◇懇親パーティー

＜理事会開催報告＞

理事会を開催し、「報告事項」を説明し、以下の「決議事項」の承認を得た。

毎回の「利益相反取引報告承認の件」に関する決議事項は省略。

なお、第316回理事会は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面審議とした。

第311回理事会（4月25日）

1. 2018年度決算報告承認の件
2. 2019年度収支予算（補正）案承認の件
3. 2019・2020年度役員候補者承認の件
4. 2019年度定時総会招集通知案承認の件

第312回理事会（5月31日）

1. 理事長・副理事長の選定の件
2. 専務理事・常務理事の選定の件
3. 会長・相談役の推薦の件
4. 運営委員会・特別委員会委員等に関する件

第313回理事会議（7月24日）

第314回理事会（10月30日）

1. 2019年度上期収支決算報告承認の件
2. 大広の会社分割（新設分割）による新会社大広WEDOの入会承認の件

第315回理事会（1月31日）

1. 入会に関する件

第316回理事会（3月26日）

1. 第55回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
2. 第49回懸賞論文入賞・入選者承認の件
3. 2019年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
4. 第7回広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞受賞承認の件
5. 2019年度事業報告案・2020年度事業計画案承認の件
6. 2020年度収支予算案承認の件
7. 2020年度定時総会開催承認の件
8. 入会申請承認の件
9. 事務局職員就業規則改訂承認の件

＜理事の辞任＞

敬称略・順不同

◇ 2020年1月1日付

鈴木 禎久 株式会社 電通デジタル

田知花隆司 株式会社 フロンテッジ

◇ 2020年3月26日付

南 晋一郎 株式会社 電通アドギア

◇ 2020年4月1日付

阿部 榮人 株式会社 昭通

＜協会役員＞

（敬称略）

会 長	高嶋 達佳	株式会社	電通 相談役
理 事 長	成田 純治	株式会社	博報堂 取締役相談役
副理事長	植野 伸一	株式会社	A D Kホールディングス 代表取締役社長グループ CEO
副理事長	岩井 秀一	株式会社	大広 相談役
副理事長	石井 直	株式会社	電通グループ 相談役
専務理事	村井 知哉		
常務理事	荒木 利孝		
理 事	加藤 和豊	株式会社	I & S B B D O 代表取締役
理 事	上田 周	株式会社	朝日広告社 代表取締役社長
理 事	外谷 敬之	株式会社	N K B 代表取締役社長
理 事	大塚 尚司	株式会社	オリコム 代表取締役社長
理 事	山田 淳史	株式会社	協和企画 代表取締役社長
理 事	加藤 雅己	株式会社	クオラス 取締役相談役
理 事	落合由紀子	株式会社	グレイワールドワイド 代表取締役社長兼 CEO
理 事	川村 晃司	株式会社	三晃社 代表取締役社長
理 事	阿久津光志	株式会社	ジェイアール東海エージェンシー 代表取締役社長
理 事	原口 宰	株式会社	ジェイアール東日本企画 代表取締役社長
理 事	巴 一寿	株式会社	第一通信社 代表取締役社長
理 事	棚田 京一	株式会社	デルフィス 代表取締役社長
理 事	桑原 常泰	株式会社	東急エージェンシー 代表取締役会長
理 事	鐘ヶ江弘章	株式会社	とうこう・あい 代表取締役社長
理 事	神田橋 治	株式会社	T O M O E 代表取締役社長
理 事	内藤 好徳	株式会社	内藤一水社 会長
理 事	丹羽 信一	株式会社	日本経済広告社 代表取締役会長
理 事	富田 賢	株式会社	日本経済社 代表取締役社長
理 事	波岡 修	株式会社	日本広告社 代表取締役社長
理 事	戸田 裕一	株式会社	博報堂 D Y ホールディングス 代表取締役会長
理 事	大森 壽郎	株式会社	博報堂 D Y メディアパートナーズ 取締役会長
理 事	大村 勝	株式会社	毎日広告社 代表取締役社長
理 事	アントニー・カデー	株式会社	マツキャンエリクソン 代表取締役
理 事	中田 安則	株式会社	読売広告社 相談役
監 事	湯澤 斉	広告社株式会社	相談役
監 事	寺尾 芳紀	株式会社	電通東日本 代表取締役社長
監 事	早川 浩	株式会社	ハヤカワ 代表取締役社長
相 談 役	俣木 盾夫	株式会社	電通 相談役

2019年度 事業トピックス/表彰報告

第49回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題：広告ってなんだろう？

- 金賞 安藤 真澄** 「広告の倫理とデジタルテクノロジー ―howからwhatへ、そしてwhyへ」
電通 中部支社ビジネスクリエーション局シニア・コンサルタント
- 銀賞 竹内 好文** 「広告は、人々の《表現の自由》を支えるもの。」
電通 ソリューション開発センターシニア・ソリューション・ディレクター
- 銅賞 土屋 貴弘** 「呼吸する広告 ～パーパス時代に、広告が社会にすべき本当のこと～」
電通 第3統合ソリューション局クリエイティブ・ディレクター

「私の言いたいこと」一般部門

○第1テーマ 営業、アカウントマネジメント

※該当なし

○第2テーマ メディア、メディアプランニング・開発

※該当なし

○第3テーマ 戦略プランニング、プロモーション、PR

- 入選 川津 絹代** 「管理から喚起へ。モデレートで共鳴を生み出すパーパス・ブランディング
～そして変わる、わたしたち広告会社のパーパス（存在理由）～」
朝日広告社 ブランドマーケティングプロデュース本部コミュニケーションデザイン局
コミュニケーションデザイン第一部プランニング・ディレクター

○第4テーマ クリエイティブ、コミュニケーションデザイン

※該当なし

○第5テーマ デジタルマーケティング、テクノロジー、ソーシャルメディア

- 入選 麻里 久** 「広告会社の、関係性マーケティング再考」
博報堂 第四ビジネスデザイン局第二アカウントチーム
兼第二アカウント戦略局デジタルビジネス推進部アカウントディレクター

○第6テーマ 管理（人事、人材育成、総務、経理、システム、法務、広報、経営管理等）

- 入選 北川 貴樹** 「『無意識バイアス』を乗り越える『マイクロコンタクト型協働メソッド』
～その『よかれと思って』がワーキングマザーを追い詰める～」
博報堂 第三プランニング局ストラテジックプランニング四部部長

○第7テーマ その他（第1～6テーマにあたらぬもの）

- 入選 笹井 佑美** 「ビジネスとしての現代アートから探る“広告会社の新しい価値”
～ビジネス・コレクティブの提案～」
朝日広告社 ブランドマーケティングプロデュース本部コミュニケーションデザイン局
コミュニケーションデザイン第一部プランナー

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 塩見ありさ** 「『エモい』を解き明かす～文脈理解と物語構築の重要性～」
メトロアドエージェンシー 営業本部第3営業局営業7部
- 入選 野村 葉菜** 「私たちが真剣に向き合わなければ、社会はいつまで経ってもこのままだ。」
読売広告社 第2アカウントユニット第1営業局第1部
- 入選 顧 文瑜** 「超複製技術時代におけるアウラの広告表現」
博報堂 第二プランニング局ストラテジックプランニング三部ストラテジックプランナー
- 入選 小山田圭佑** 「複雑性がシェアされる時代に求められる広告」
博報堂DYメディアパートナーズ データビジネス開発局メディアデータ基盤開発部
ビジネスディベロップメントプランナー

2019年 クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2019 CREATOR OF THE YEAR

川腰 和徳 電通 第3CR プランニング局 クリエーティブ・ディレクター/アート・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 株式会社北國新聞社「高等学校相撲金沢大会 ブランディングプロジェクト」
- 株式会社テレビ朝日・東宝株式会社「『君の名は。』地上波放送プロジェクト 2019」
- 株式会社マンダム「GATSBY COP」「盛られハザード」
- 株式会社湖池屋「KOIKEYA PRIDE POTATO」
- ヤフー株式会社「HISTORY OF THE INTERNET」
- 株式会社神戸新聞社「SINCE 1995」PROJECT ほか

神田 祐介 博報堂 第一クリエイティブ局 クリエイティブディレクター/CMプランナー

【主なクリエイティブワーク】

- 株式会社タクティー jms 連続10秒ドラマ「愛の停止線」
- ドラマ24「きのう何食べた？」企画監修
- 株式会社マンダム LUCIDO TVCM「恥ずかしい」篇
- 独立行政法人日本スポーツ振興センター BIG TVCM「あの人もBIG」シリーズ ほか

2019 CREATOR OF THE YEAR MEDALISTS

木村 洋 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab Senior Art Director

【主なクリエイティブワーク】

- 日本肢体不自由者卓球協会 カタチにとらわれない卓球台「PARA PINGPONG TABLE」
- ポプラ社『答えのない道德の問題 どう解く?』ほか

細川美和子 電通 CDC クリエーティブ・ディレクター/コピーライター

【主なクリエイティブワーク】

- P&G PANTENE「#この髪どうしてダメですか」
- 日向市「ヒュー!日向 Phew!HYUGA」ほか

荒井 信洋 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 日本赤十字社「#BPM100 DANCE PROJECT」
- SUNTORY「特茶 みんなの運動会」 ■ モンスト TVCM「Get Wild」ほか

河西 智彦 博報堂 統合プランニング局 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 幸楽苑 年間統合キャンペーン ■ 姫路セントラルパーク 年間キャンペーン
- 森永製菓 ベイク「買わない理由100円買取り」キャンペーン ほか

嶋田三四郎 博報堂DYメディアパートナーズ クリエイティブ&テクノロジー局長兼統合クリエイティブGM

【主なクリエイティブワーク】

- RCC テレビ60年特別企画 リリーフドラマ「恋より好きじゃ、ダメですか?」
- 宝酒造 BS-TBS「夕焼け酒場」ほか

玉川 健司 ADKマーケティング・ソリューションズ エクスペリエンス・デザインセンター EXクリエイティブユニット クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- グッドマンサービス「I am Hussein」 ■ 亀田製菓「ハッピーターン変わってないわよ!」
- グッドマンサービス/アムネスティ/ACE「Cruel Recruitment」ほか

辻中 輝 電通九州 クリエーティブ局 クリエーティブ・イノベーション部 コピーライター/CMプランナー

【主なクリエイティブワーク】

- スマートニュース TVCM
- コッタ TVCM ■ パイロット フリクション Webムービー ほか

三田 哲矢 WUNDERMAN THOMPSON TOKYO クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- キオクシア 生み出せ! #世界新記憶キャンペーン「TEZUKA2020」
- バイエル薬品「BABY CHAT」ほか

第7回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞(JAAA若手大賞)

大賞

分身ロボットカフェ DAWN ver.β

コミュニケーションの主体：株式会社オリイ研究所

推薦者：高橋 祐作（ADK マーケティング・ソリューションズ）、清水 陸（大広）

優秀賞

○ HUG っと！プリキュア第 42 話『エールの交換！これが私の応援だ!!』

コミュニケーションの主体：東映アニメーション株式会社、朝日放送テレビ株式会社

株式会社 ABC アニメーション、株式会社 ADK エモーションズ

推薦者：脇田菜穂子（マッキンゼーエリクソン）

○ レンタルなんもしない人

コミュニケーションの主体：森本 祥司 氏

推薦者：高橋 祐作（ADK マーケティング・ソリューションズ）

○ ロフトの Twitter コミュニケーション

コミュニケーションの主体：株式会社ロフト

推薦者：中村 優里（ジェイアール東日本企画）

○ 3cm market

コミュニケーションの主体：3cm market 推進委員会

推薦者：西口 滉（I&S BBDO）、永田優太郎（ジオメトリー・オグルヴィ・ジャパン）

○ エイブル Presents 第 71 回全日本フェンシング選手権大会

コミュニケーションの主体：公益社団法人日本フェンシング協会

推薦者：齋藤あかり（大広）

※推薦者の所属は応募時点

CSR委員会 SDGsポスター入賞作品

最優秀賞

正鉢 慧吾、川口 修（電通西日本 岡山支社）

○スキップできない課題が私たちにはあります。

優秀賞

丸原 孝紀、本多 陽一、扇 玲香（東急エージェンシー）

○かじってみると、チャンスが見えるよ。

○2030 年までに、クライアントと料理したい 17 のメニュー。

第55回吉田秀雄記念賞 受賞者

個人賞

○岩井 秀一 氏 (株式会社 大広 相談役)

1953年生れ 66歳

〔略 歴〕

1977年 3月 慶応義塾大学 卒業

1977年 4月 株式会社 大広 入社

2011年 4月 同社 取締役専務執行役員

2012年 6月 同社 代表取締役社長執行役員

2014年 4月 同社 代表取締役会長執行役員

2019年 6月 同社 相談役

〔協会役職〕

2013年5月～ 当協会 理事、副理事長

2013年～2019年 同 取引合理化委員会担当理事

2013年～ 同 運営委員会委員・入会資格審査委員会委員
吉田秀雄記念賞選考委員会委員 現在に至る

〔贈賞理由〕

2013年、協会理事として理事会承認を得て副理事長に就任。同時に運営委員会委員に就任するとともに理事として取引合理化委員会を担当し、協会運営に貢献された。また、大阪アドバタイジングエージェンシー協会の理事長も同時期に就任され、大阪における広告業の発展に尽力されている。

○加藤 和豊 氏 (株式会社 I&S BBDO 代表取締役)

1949年生れ 71歳

〔略 歴〕

1972年 3月 西南学院大学 卒業

2000年 株式会社 I&S BBDO 執行役員兼九州支社長

2002年 株式会社 BBDO J WEST 代表取締役社長

2009年12月 株式会社 I&S BBDO 代表取締役社長 & CEO

2015年 7月 株式会社 BBDO JAPAN 代表取締役社長

2019年 3月 株式会社 I&S BBDO 代表取締役

株式会社 BBDO J WEST 代表取締役

2020年 3月 株式会社 BBDO JAPAN 代表取締役

〔協会役職〕

2010年 2月 当協会 理事、入会資格審査委員会委員

2018年～ 同 吉田秀雄記念賞選考委員会委員 現在に至る

〔贈賞理由〕

2010年、協会理事に就任。以来、広告業界の発展向上のために尽力されている。特に入会資格審査委員会では入会申請のあった広告会社に対して入会に資する確かな判断をされている。また、九州広告業協会においては、運営委員会委員長・会長などを歴任され協会運営に携わり、九州の広告業の発展に貢献された。

グループ賞

該当なし

■事業報告の附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載いたしました。